



本弘寺別院
秦野市渋沢 1398-12
TEL : 0463-82-9577
✉ honkouji.wakka@gmail.com

こども仏教

ブツダがせんせい

「これは自分のもの」と言いはるより
みんなでかしたり、かりたりすると、
なかよくなれるよ

おいしいお菓子やケーキをもらったとき
「全部、ひとりで食べちゃいたい」と思
うことがあるかもしれないね。
でも、おいしいものは、ひとりで食べる
より、友だちや家族といっしょに、みん
なで「おいしいね」と言いながら食べる
ほうが、だんぜんおいしくなるはず。
文房具や遊び道具も「これはわたしの」
とか「ぼくのもの」と言って、ひとりじ
めするより、貸してあげたり、一緒に使
うと、きっと楽しいことがおきるよ。貸
したり、借りたり、一緒に遊ぶようにす
れば、きみも相手も喜びし、もっと仲良
くなれますよ。

永岡書店出版「ブツダがせんせい
心を育てるこども仏教塾」より引用

9月に入っても残暑厳しい日が続いており
ますが、疲れが取れず体調を崩された方も
多いのではないのでしょうか。
私もお盆明けからだるさが続き、9月号の寺
報の作成が思うように進まず、お手元の届く
のが遅くなってしまい申し訳ありません。

早いもので、秋のお彼岸を迎えます。暑さ
寒さも彼岸までですので、お身体に気を付
けて、迎えさせていただきましょう。
以下の日程で法要を執り行いますので、
ぜひお参りくださいませ。

過去帖や法名軸、お位牌をお持ちくださ
れば、ご尊前にお供えいたします。

法要に関するご質問・ご相談は、お寺に
お問合せくださいますようお願いします。

お彼岸法要のご案内

とき 9月23日(日曜日 秋分の日)
一座目 11時30分～12時30分
二座目 13時00分～14時00分
ところ 富鶴浄苑 2階 礼拝室

※例年、午前のお時間帯は混雑しますが、
午後は比較的空いています。ご都合の良い
お時間にお参りくださいませ。

蓮之園のお彼岸法要

とき 9月23日(秋分の日)
10時00分～11時00分

法話会のお知らせ

住職と直接お話できる機会でもあります。
皆さまのお越しをお待ちしております。

- ◆持ち物:お念珠
- ◆費用:お賽銭箱に100円～1000円程度を入れて
ください

今後の法話会スケジュール

富鶴浄苑 14:00～ 本弘寺別院 11:00～
9月2日・10月7日 9月18日・10月18日

ものづくり教室

毎月第一日曜日 13:00～法話会の前に霊園にて
お念珠を手作りしたり、コースターを作ったり
1時間程で完成するものを手作りしています。
作品は、老人ホームのパザー等に寄付をしたり
もしています。
参加費は1回500円(材料費含)です。
作るのが好きな方はもちろん、丁寧に教えてく
れますので、苦手な方でも大丈夫です!!



正しい作法 ～ お線香を寝かせる ～

あまり馴染みがない方もいらっしゃると思いますが、浄土真宗では、お線香を立てずに、
適当な長さに折って、火が付いている方を左にして香炉に寝かせて置きます。
※折ってはいけないと思っている方がいますが、香炉の大きさに合わせて半分や2～3本に折って置い
てください

- 寝かせることで、メリットがたくさんあります。
- ☆お線香が倒れて火事になることがない
- ☆お線香が燃えきるので灰の中が綺麗に保てる
- ☆お線香の灰が周囲にちらばることがない



よく寝かせても根元まで燃え尽きないとご相談をいただきますが、その場合は、よく乾いた
灰を使用したり、お線香の灰が溜まると燃えやすくなりますので、繰り返しなさってみてください。

仏さまの視点

朝焼小焼だ大漁だ。大羽鯛の大漁だ。
浜はまつりりのようだけど、海のなかでは何万の
鯛のとむらいするだろう。

これは金子みすゞさんの「大漁」という詩です。

私たちはいつでも自分の正しいと思うことを大切
にします。それは同時に他人の正義とぶつかり
合う結果を招くこともしばしばです。

作家の遠藤周作さんは「彼らはずっと正義の旗
じるしをかかげる。(中略)自分の主義にあわぬ
者を軽蔑し、裁くというのが現代の善魔たちなの
だ」とおっしゃられています。

昨今は、様々な事柄について自分の正義を世
間の常識の様に勘違いをして他者を裁くことが
見受けられます。

以前、娘に昔話の桃太郎を読んで聞かたとき
に、気付かされたことがありました。
それは、桃太郎を正義、つまり善として鬼は悪と
しか見ていないということでした。桃太郎側から
悪として描かれた存在、その事に何の疑問も持
たず、悪いものは裁かれて当然だとしか見てい
なかったのです。自分は善として、他者を悪とし
て裁く権利でも有るかのよう。

しかし、鬼は悪だったのでしょうか。鬼は鬼で、
自らの正義の中で生きていた結果が桃太郎と
対立する結果になったのでしょうか。
昔話はただの昔話としてしまえばそれだけのこと
ですが、仏教という視点でものをみた時に何が
聞こえてくるのか。

親鸞聖人はそういう自己中心的な考え方をし
てしまう心を悲嘆され、慚愧ということを大切に
みられます。

冒頭の金子みすゞさんの詩にも、そのような響き
があります。

私たちも他者を裁いてしまう自分の心を見つめ
たとき、何か違った風景が見えてくるのではない
でしょうか。

編集後記

ここ最近、ご葬儀に関する問い合わせが多く
お父様やお母様が余命宣告を受け、そう
なった時にバタバタしないようにと事前に法名
のこと、ご葬儀のお布施のこと、身内だけの小
規模でも大丈夫かなど様々な疑問をお持ちの
ようです。葬儀社の説明会に行くのはちょ
ット気がひける方もいらっしゃると思
いますので、中立な立場で相談会を開催できたらと思
っていますので、お声を掛けてください!

ブツダは、『人は「これは自分のものだ」
と執着した物のせいで苦しむのです。所有
物というものは常にそこにとどまるわけ
ではない。それは「いつか自分から離れてい
く」と知ることです。』と教えています。
住職がご法話で『自分は親のもの』だと思
ったことがありますか?と話されました。
皆さんは、どうですか。私は「親のもの」
と思ってないのに、子どもには、「私の子
ども」と執着が離れられず、その度に自分
のものではなかったと反省する日々です。
坊守